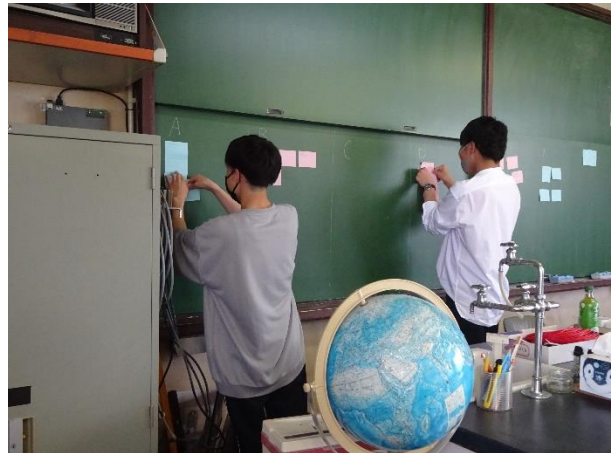
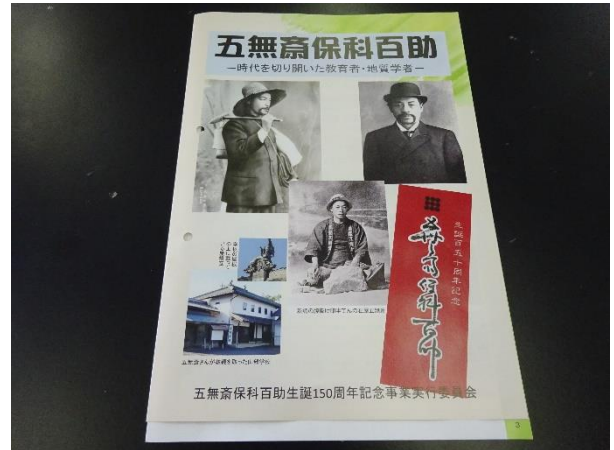


パリに行った五無齋さんの石

五無齋保科百助研究会 村田長年先生

実施日：令和3年6月15日（火）



第6回目は、五無齋保科百助研究会の村田長年先生を講師に招き、「パリに行った五無齋先生の石」というテーマでお話いただいた。教育者・地質学者でもある蓼科高校の初代校長保科百助の経歴や、なぜ石を集めたのかなどのお話を詳しくしていただいた。また、さまざまな石を紹介していただき、石の質感や重み、色味や形などを観察し、気づいた点を付箋にまとめ石の特徴や名称を学んだ。その他、1900年のパリ万博で実際に出品された鉱物も見ることができ、印刷物だけではわからない、まさに“実物教育の大切さ”を説いた五無齋先生の言葉を実感することができた。

【生徒の授業日誌より】

・五無斎さんのように石を観察したり、クイズのようなことをして、五無斎さんの楽しみを少し知ることができた。五無斎さんを偲んで1年足らずの間に2基の石碑が建立されたことは、五無斎さんがいかに親しまれ、その死が惜しまれていたかを物語っている。五無斎さんは色々な人に惜しまれていてすごいと思った。

・約2年の間で200種類の鉱物を採集して標本を作ったのが凄いと思った。明治33年に蓼科農学校長になったけど教員は10年で辞めて、その後も筆墨行商などをしながら子供たちのために本集めをしていて凄いと思った。校長になった年にパリ万博に鉱物出品していて凄い。実際の標本を観察することができて良かった。パリ万博に出品された信濃産13種のうち5点も五無斎さんが発見・採集したもので凄いと思った。本当に石集めや標本作りが好きだったんだろうなと思った。

・実物の石を触って観察することができて良かったです。とてもきれいな石があった。たくさんの石を一人で集めたなんてすごいと思いました。めずらしい石がたくさんある。コンペイトウ水晶すごかったです。